

2021年9月10日

西日本地区を中心とした大雨に伴う影響等について

8月12日以降停滞した秋雨前線の影響により、3週間以上にわたり中央線・山陽線が不通となり、お客様をはじめ関係の皆様にご多大な御迷惑をお掛けしました。

JR各社の懸命な復旧作業の結果、9月5日の山陽線運転再開により全線で運転を再開しましたが、この間、利用運送事業者等のご協力により、トラック・船舶による代行輸送を実施してきました。

今回の影響及び実施した対応について、以下のとおりお知らせします。

当社は、今回の災害等の影響を踏まえて引き続き対策の検討を進め、貨物列車の運行に関してより一層安全・安定輸送の向上に努めてまいります。

1. 不通線区と運転再開日（別紙1参照）

- ・中央線（竜王駅～塩尻駅間）・篠ノ井線等 8月16日再開
- ・中央線（多治見駅～塩尻駅間） 9月3日再開
- ・山陽線（新南陽駅～北九州（夕）間） 9月5日再開

2. 運休本数

コンテナ列車 765本、車扱列車 135本、合計 900本

3. 山陽線不通に伴う対応

(1) トラック代行輸送・折り返し列車の運転

- ①実施区間・期間（別紙2参照）
- ②輸送量 5,242個（12フィート換算）

(2) 定期船による代行輸送

- ①実施区間・期間（別紙2参照）
- ②輸送量 166個（12フィート換算）

※上記対応により不通区間輸送量の最大約10%をカバーしました。

4. 中央線不通に伴う対応

運転再開までの間、石油列車について、東海地区から東海道線経由で長野地区への迂回輸送、関東地区から長野地区向けに臨時列車による輸送を行いました。

(1) 東海地区から東海道線経由で長野地区への迂回輸送

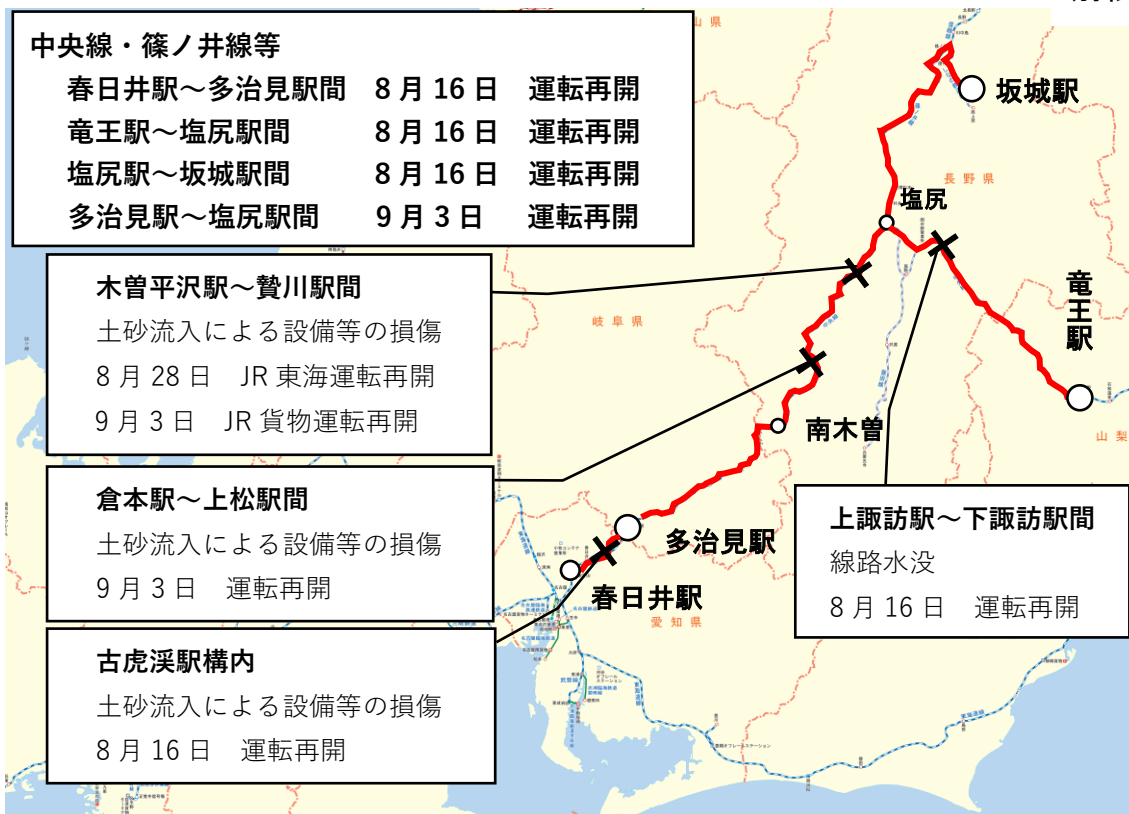
臨時列車3本運転し、タンクローリー162台相当を輸送

(2) 関東地区から長野地区への臨時列車

臨時列車17本運転し、タンクローリー711台相当を輸送

5. 今回の災害に伴う減送量（暫定値）

344千トン



山陽線 大雨に伴うトラック・定期船による代行輸送

